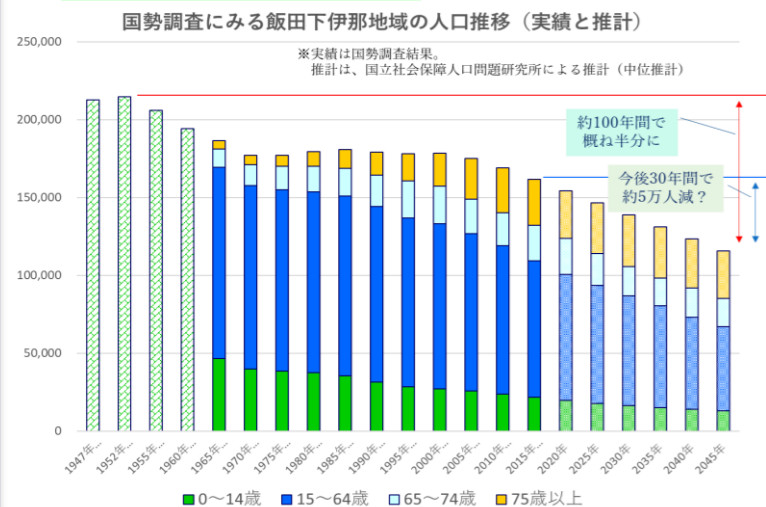


南信州 (飯田下伊那地域)



《 1. 事業構想の背景 》



将来に向けて、どのような地域づくりを進める

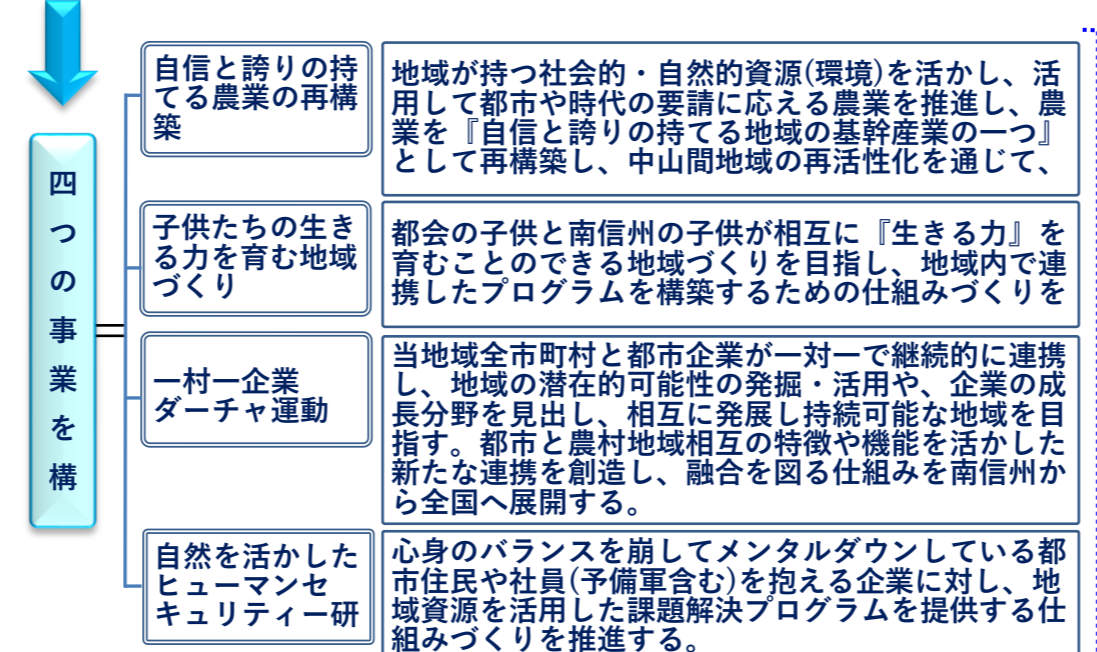
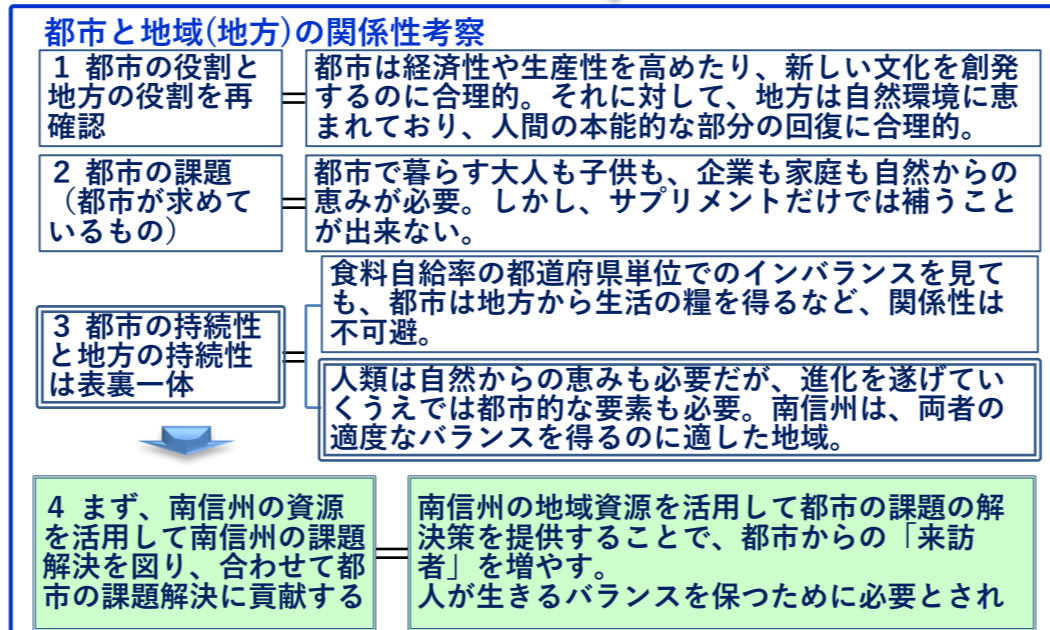
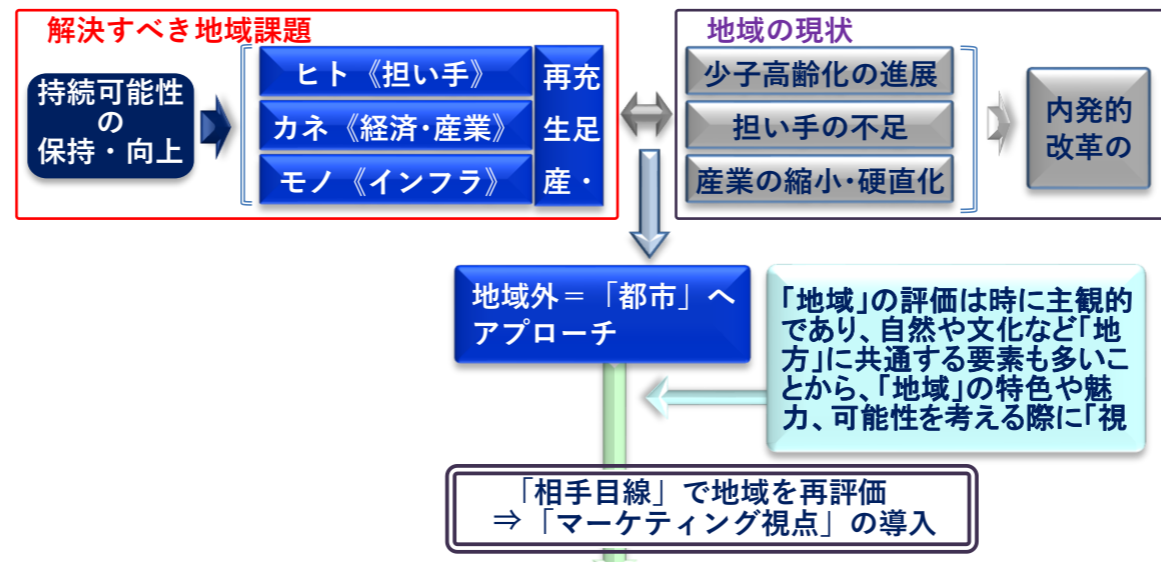


《 2. 事業構想の前提 》

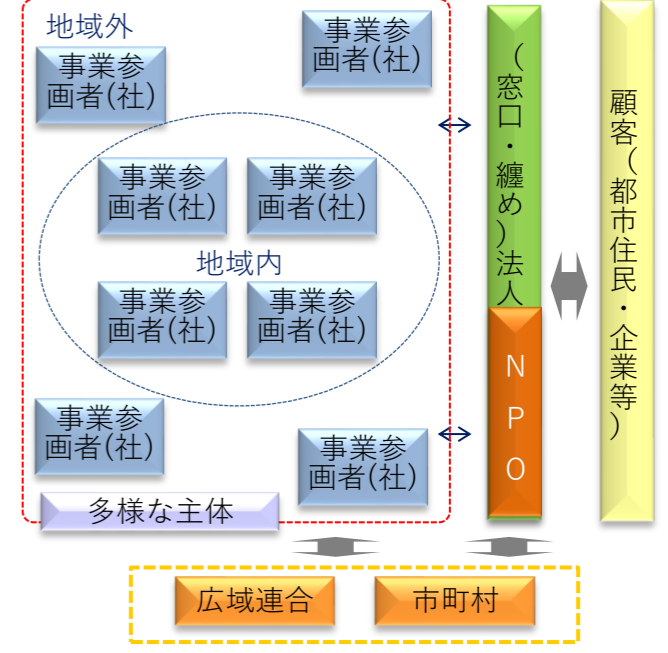
地理的、地形的に、大きな纏まりを形成している。
 過去から今日に至るまで、政治・経済・文化=「生活」の領域や基本形の多くを共有している。
 地理的規模に比して人口が少なく、自治体単位では解決が困難或いは不効率な課題が多くある。
 広域連合を組織し、共同して広範な課題解決に取り組んでいる行政的、政治的な基盤がある。
 自治体数は「多様性」に繋がる。

市町村の違い (特性、「意向」) を踏まえながら、飯田下伊那地域全体を「南信州」という一つの纏まりとして捉え、対象とする。
 常に、個別市町村の取組みと「南信州」としての取組みとのベストミックスに留意

《 3. 事業構想のプロセス 》



《 4. 基本的な事業推進体制 》



《 5. 地域づくりのスキーム 》

